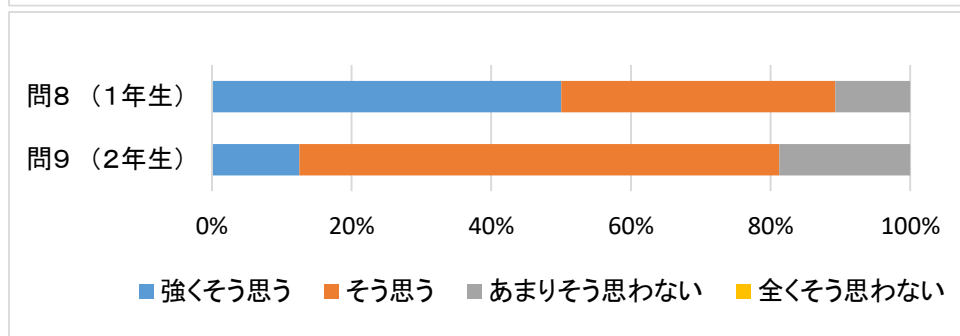
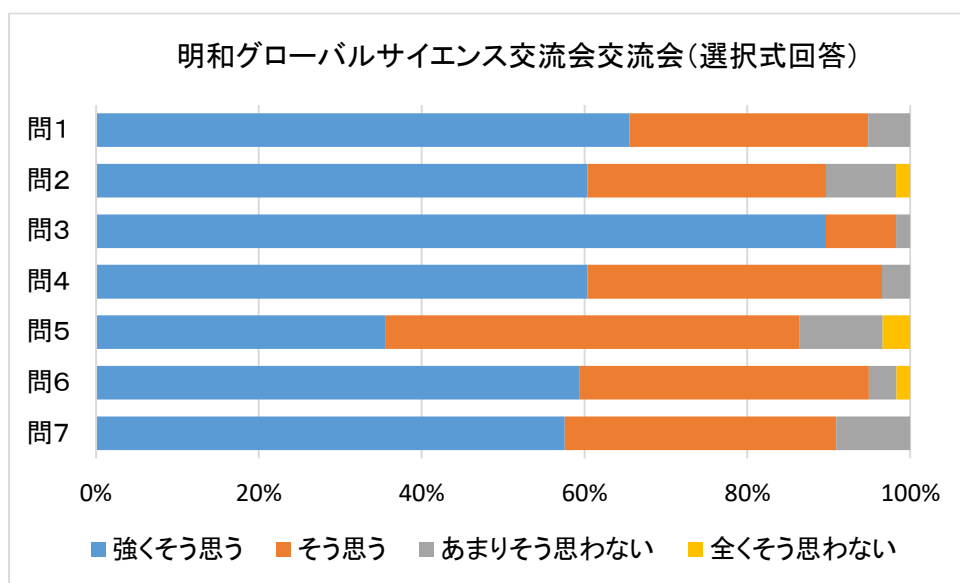


「明和グローバルサイエンス交流会」に対するアンケート報告

【選択式回答】

- 問1 研究の成果をどのような方法で国際発信するのか理解することができた。
- 問2 国際交流を通して「探究する」ことの大切さを感じることができた。
- 問3 国際交流には言語能力だけでなく幅広い知識を活用することが必要であると感じた。
- 問4 研究を進めるには、国境を越えて共通のテーマを持つ者とコミュニケーションを取る必要があると感じた。
- 問5 明和グローバルサイエンス交流会に参加して、研究成果の国際発信に対する自分の気持ちや考えが大きく変化した。
- 問6 明和グローバルサイエンス交流会の内容はとても有意義であり、他人と是非共有したい（他人に知らせたい）と思った。
- 問7 明和グローバルサイエンス交流会に参加して、本校で実施する海外研修に参加したいと思った。
- 【1・2年生のみ】
- 問8 【1年生のみ】明和グローバルサイエンス交流会に参加したことで、課題研究への意欲がわいてきましたか。
- 問9 【2年生のみ】明和グローバルサイエンス交流会に参加したことで、課題探究に参考となることを見つけられましたか。



【記述式回答（抜粋）】

評価アンケートでの設問：

明和グローバルサイエンス交流会に参加して、研究成果の国際発信に対するあなたの気持ちや考え方の変化を具体的に記しなさい。

【口頭発表者・ポスター発表者の回答】

- 英語で発表することを初めて行い、様々な困難を味わったのと同時に、改めて国際発信の重要性を感じた。今まで、様々な場所で研究発表を行い、自分らの研究を発信できていたつもりでいたが、今回参加して、それは随分狭い世界で行っていたのだなと痛感した。世界の人々の思想、研究に触れて、共有し合うことで自分らの研究をより深めていくことが国際発信の意義であると改めて感じる事ができたと思う。
- 明和グローバルサイエンス交流会への参加前は、自分の研究内容を海外の人に発表するという事に対して不安がありましたが、発表してみると自分で作った内容を自分で発表することの素晴らしさに気づけたような気がしました。今までは「研究」や「発信」への苦手意識が強かったのですが、これから研究をしていくときに、興味のあることをしっかり研究して、それを他の人に知らせたいという意志をもって発表できるよう頑張りたいです。
- 明和グローバルサイエンス交流会を通して国際発信の大切さ、そして、発信するだけでなく、意見交換をすることの大切さを学んだ。今までは、自分で行った研究成果を英語で伝えるという捉え方をしていたが、英語にする段階で、英語の表現ももちろんだが、どのような言い方なら食いついてくれるのかなど考えるとき、自分の研究をさらに分析するとともに、聴いてくれる人の文化についても考えるようになるため、自分の視野が広がることにつながったと思う。そして、実際に発信してみると、様々な意見や反応があり、そこから会話がはじまり、研究について客観的な意見を得られ、海外の方の考え方も知ることができ、英語の表現も豊かになっていくことにつながっていくと思うため、発信した後の意見交換もとても大切だと感じた。
- この交流会では、事前に校内で行ったポスターセッションでは聞かれなかった質問が多数あり、日本人と海外の人との観点の違いを強く感じました。これはこの交流会に参加しなければ得られなかった経験だし、それに臨機応変に対応できる語学力も必要だと思いました。また、それを臆することなく気さくに聴いてくれる留学生の方たちの意欲にも驚かされ、国内に発表しているだけでは得られない反応を得るにも、国際発信は大切な発表過程だと思いました。

【聴衆の回答】

- 明和グローバルサイエンス交流会に参加する前は、日本人に発表することと、外国人に発表することの違いをあまり感じていませんでした。同じような知識を持っている人であれば変わらないのではと思っていました。しかし、交流会に参加して、実際に留学生の人と触れ合って、やっぱり文化や暮らしてきた環境には大きな違いがあることを実感しました。きっと文化や環境が違えば、情報の受け取り方や感じ方も違うだろうなと思いました。そして、違いがあるかないかで色々な人が議論し合う中で新しい発見があるし、理解し合うためには議論し合うことが必要だと感じました。その上で研究成果を国際発信することはとても重要なことだなあと感じました。
- 研究発表は、私からしたらどれも難しいようなテーマで、聴いてもあまり理解できないのではない

かなと恐れてしまっていたけれど、先輩方の説明は誰にでも理解してもらえるような説明だった。国際発信というと、私の前に大きく立ちはだかる壁のように思っていたけれど、自分の研究に熱中した成果だからこそ人に伝えたいという素直な思いを伝えるいたってシンプルなことであると思えるようになった。自分に自信の持てる研究をし、それを海外で発表する海外研修にも参加してみたいなど思った。

- 昨年とは違い、自分も課題研究に取り組み始めている中での交流会だったので、先輩方の様子をよく見てみた。外国人に分かりにくい所は別の言葉で言い直し、身振り手振りを使って生き生き発表していた。私は、自分たちの研究や発見なんて、ちっぽけなものでしかないと思っていたが、今回のような国際発信の場での聴衆の発見や考え方の広がりや、新たな研究へ少しでもつながっていくのかもしれないと感じた。